

TOKYOINK CORPORATE GUIDE

会社案内



東京インキは「暮らしを彩る、暮らしに役立つものづくりで、社会に貢献する」を企業理念として、色彩を軸に、市場が求める価値をお客様と共に創造、実現することに日々取り組んでいる総合色彩化学メーカーです。

1923年に印刷インキメーカーとして創業し、培ってきた配合・分散技術を活用、進化させることで、様々な記録材料、インクジェットインクなど高分散体、プラスチック用着色剤と機能性添加剤、プラスチック成形材料を開発、提供してまいりました。

さらには、プラスチック材料メーカーとして積み上げてきた技術を活用して、機能性フィルム、ネット、成形品のメーカーとしての事業も展開しており、幅広い分野で材料から製品まで開発・提供することで世の中に貢献しております。

今、持続可能な社会の実現に向けての動きが加速する中で、ITの更なる進化を軸とする技術革新はとどまることなく、求められるニーズもより高度で複雑なものになってきておりますが、これらのニーズを満たすことこそが市場が求める価値を創造、実現することであると肝に銘じ、これからもチャレンジしてまいります。

より良い未来を目指したものづくりで社会に貢献 色彩を軸に、市場が求める価値を お客様と共に創造、実現し続けます

Based on our corporate philosophy that “we contribute to society through *monozukuri* that brings colors and benefits to everyday life”, Tokyo Printing Ink Mfg. Co., Ltd. (“TIC”), as a general manufacturer of colors and chemicals, will focus on color and strive every day to collaborate with customers and continually create and produce value sought by the market.

TIC was established in 1923 as a printing ink manufacturer. Since then TIC has developed and offered various recording materials, highly dispersed materials such as inkjet inks, plastic colorants and functional additive products and plastic molding compounds by utilization and advancement of technologies for formulation and dispersion.

In addition, making use of technologies honed as a plastic material manufacturer, TIC has developed business as a plastic material manufacturer to contribute to society by developing and producing functional films, nets and molded articles in a wide variety of sectors.

As the movement toward achieving a sustainable society is accelerating, technical innovation based on further advancement of IT (Information Technology) constantly advances, and needs have become even more sophisticated and complex. Under such circumstances, however, we will continue to take on challenges bearing in mind that meeting such needs will create and realize the values of market requirements.



代表取締役社長

堀川 聡

基本理念

人々の暮らしをより快適に、便利に、安全に。
地球に優しく。

豊かな暮らしと社会の発展に
広く貢献する企業でありつづけます。

インキ事業

企業理念

暮らしを彩る、暮らしに役立つ
ものづくりで、社会に貢献する。

— ありたい姿

目指すべき企業像

色彩を軸に、
市場が求める価値をお客様と
共に創造、実現し続ける企業。

— あるべき姿

化成品事業

経営理念

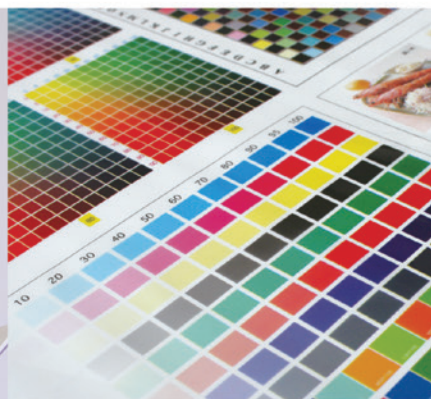
顔料加工事業とその周辺分野及び、今後
成長が見込まれる市場分野で、分散技術
等に基づき環境対応型の高機能製品を製
造・販売する高収益メーカーを目指します。

行動規範

- ・法と倫理に基づく行動
- ・事業活動において安全を優先
- ・地球環境の保全に貢献する
製品の生産・販売活動
- ・安全かつ高品質の製品・サービスの提供
- ・常にチャレンジ精神をもった行動

加工品事業

分散ケミカル技術をバックボーンに 幅広いフィールドで活躍



卓越した技術で
各産業に必要な資材を
提供しています

■ インキ事業

地球環境の保全に貢献する高品質、高機能、高付加価値のある印刷関連資材の研究・生産・販売活動に取り組んでいます。さらに、印刷業界の業態変革に伴い、デジタル印刷対応の新規事業の構築を推進しています。

オフセットインキ

情報誌、フリーペーパー、新聞、書籍、パッケージや折り込みチラシなどの、紙を媒体とする印刷用のインキを提供しています。

グラビアインキ

牛乳パック、菓子の箱、デパートの包装紙、食品用トレー、ラーメンやパンなどの袋、ダイレクトメール等の、私たちの身近なところで使用されるものへのインキを提供しています。

インクジェットインク

デジタル時代にあわせて、インクジェット用インクの開発、製造を行っています。高機能、かつ環境対応が求められる分野で、インキやプラスチック着色剤の開発で培った独自の分散技術を駆使し、紫外線硬化型インク（UVインク）を開発、グラフィックスから産業用印刷まで、幅広い用途に対応しています。



化成品事業

プラスチック分野において、高度化・多様化していくニーズに対応すべく、当社の分散技術・加工技術を生かしたマスターバッチをはじめとする各種製品の提供に取り組んでいます。

プラスチック用着色剤

自動車、家電、容器、フィルム等、私たちの身の回りにあるあらゆる分野のプラスチック製品に当社の着色剤が使用されており、コンパウンド、マスターバッチ、ドライカラーと成形条件に応じた着色剤を提供しています。また、住宅設備等に使用されるFRP用途を中心としたペーストカラーの提供も行っており、幅広い分野の着色に取り組んでいます。

プラスチック用機能性添加剤

プラスチックは軽量で成形しやすいなど多くの長所がある反面、紫外線等による劣化、燃焼しやすい、帯電しやすい等の欠点もあります。そのような欠点を補うための機能性添加剤を提供しています。成形時に機能性添加剤を加えることでプラスチックに耐候性、難燃性、導電性等の各種機能を付与することが可能で、色とは異なる目に見えないところにも当社の製品が使われています。

加工品事業

当社コア技術である分散技術を駆使したプラスチック材料を使用し、樹脂成形品や一軸延伸並びに押出（回転・異形）成形技術を応用した樹脂加工品の開発・製造に取り組んでいます。また新しい分野への製品提供を目指した各種製品の開発・製造を推進しています。

包装資材

青果物、お菓子、コイン、石鹸等の包装に使用されているプラスチックネット包装やフィルム包装等、独自の加工技術による幅広い分野での包装資材の提案・提供に取り組んでいます。

産業資材

回転異形成形技術を駆使したろ過フィルター等の工業資材、さまざまな加工技術を組み合わせることで農作物の育成をコントロールする農業用資材など、幅広い分野における各種樹脂加工品の提供に取り組んでいます。

土木・環境資材

当社の成形加工品テラセル（ジオセル）を中心に、災害復旧、防災対策、のり面補強、軟弱路盤補強などさまざまな用途の土木・環境資材を提供しています。資材提供だけでなく、状況に応じた各種工法と資材を一括提案することで、付加価値の高いソリューションを提案しています。

コミュニケーションと技術で 必要な価値を“造り込む” それがものづくりへの思いです

東京インキは「お客さまの視点」でのものづくりとサービスの提供を心がけています。

製造業に求められる7要素、Productivity-生産性、Quality-品質、Cost-経済性、Delivery-納期、Safety-安全性、Morale-意欲、Environment-環境性に、Communication-コミュニケーションを独自に加えた8要素を重要要素と位置づけ、お客さまとのコミュニケーションを通じ、製造・販売・技術が一体となって、より良い製品づくりに努め、信頼関係を築いていきたいと考えています。

コミュニケーション Communication

お客様の求める製品を
緊密なコミュニケーションに
より提供していきます

環境性 Environment

安全な製品を提供するために
全工場でISO14001を認証
取得し、地球に優しい
ものづくりを実現しています

生産性 Productivity

長年の知識変換サイクルにより
生み出された高い現場力と
効率の良い生産設備を有してい
ます

品質 Quality

全工場で ISO9001 を認証取得し
高品質な製品を提供しています。
また、業界に先駆けてクリーンな
環境での生産にも取り組んでいます

経済性 Cost

技術伝承により醸成された
配合・調色技術による製品づくりで
最適なコストを追求しています

お客様の求める
製品・資材の提供
**高付加価値
製品**

納期 Delivery

効率的な生産システムを運用した
短納期生産と、物流ネットワークの
整備によりジャストインタイムに
対応しています

意欲 Morale

今まで培われてきた分散技術に
代表される要素技術と、
未来を見据えた新しい要素技術
を融合し、常にチャレンジ精神
を持って新製品の開発に取り組
んでいます

安全性 Safety

徹底した安全教育の実施による
内部環境整備と、各種法規制を
遵守し管理された原材料を使用
した安全なものづくりを推進し
ています

美しい色彩を放つ企業として 時代を彩りつづけます

1916 (大正 5 年)

合資会社日本油脂工業所設立

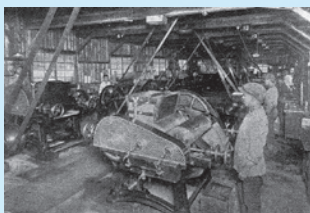
東京インキ株式会社の前身。
大橋光吉が精美堂印刷所練内部を独立させ
現・東京都豊島区に設立。



1923 (大正 12 年)

東京インキ株式会社設立 オフセットインキの製造開始

12月10日創立。初代社長に大橋光吉が就任。
合資会社日本油脂工業所の設備、事業一切を
引継ぐ形で新たな一歩を踏み出した。



1928 (昭和 3 年)

田端工場新設

オフセットインキの需要増に伴い
従来の工場では手狭になったので、
現・東京都北区に田端工場を新設。

1937 (昭和 12 年)

本社移転

印刷インキの更なる需要増に伴い、田端工場を増強。
それに併せて本社を田端 (現・東京都北区) へ移転。

1953 (昭和 28 年)

プラスチック着色剤分野に進出

田端工場内にて、印刷インキ製造技術を応用して着色剤 (ペースト
カラー) を開発。翌年には、マスターバッチの製造も開始した。



1961 (昭和 36 年)

東京証券取引所第 2 部に上場

株式の公開は、社の知名度・社会的
信用度を高めた。

1960

1950

1940

1930

1920

1930 (昭和 5 年)

グラビアインキの製造開始

田端工場にてグラビアインキの製造を開始。
オフセットインキの生産量も増え
工場内は多忙を極めた。

1963 (昭和 38 年)

吉野原工場新設

現・埼玉県さいたま市に新設。
グラビアインキ、各種マスターバッチの
工場として稼働。
現在の化成品事業の主力工場であると
ともに、研究開発拠点の機能も担っている。

プラスチック成形分野に進出

プラスチックネット「ネトロン」を製造開始。



1986 (昭和 61 年)

羽生工場新設

埼玉県羽生市に新設。
オフセットインキの工場として稼動。
田端工場からオフセットインキの生産設備を
順次移管し、現在ではインキ事業の主力工場
となっている。



2006 (平成 18 年)

東京油墨貿易(上海)有限公司設立

中国市場での販売拠点として
中華人民共和国上海市に設立。

2010

2000

1990

1980

1970

1987 (昭和 62 年)

東京インキ株式会社 U.S.A. 設立

北米市場での販売拠点として
アメリカ合衆国ロサンゼルスに設立。



2008 (平成 20 年)

一軸延伸フィルム事業開始

三井化学ファブロ株式会社より
一軸延伸フィルム事業を譲受。



2015 (平成 27 年)

東京インキ(タイ)株式会社 工場新設

タイ王国サムットプラカーンに
マスターバッチの工場として新設。
当社グループ初の海外生産拠点となる。

2010 (平成 22 年)

東京インキ(タイ)株式会社設立

タイを中心にアセアン諸国市場向けの
販売拠点としてタイ王国バンコク市に設立。

本社移転

本社機能強化のため、東京都北区
田端新町から東京都北区王子へ移転。

土岐工場内にクリーン工場新設

高品質な製品を提供するために
業界に先駆けクリーン工場を建設。



1968 (昭和 43 年)

大阪工場新設

大阪府枚方市に新設。
事業拡大に伴い西日本へ生産拠点進出。
現在はコンパウンド、マスターバッチを
中心に生産。西日本における化成品事業
の主力工場となっている。

1991 (平成 3 年)

土岐工場新設

岐阜県土岐市に新設。
コンパウンドを中心に生産。
大型の設備を揃え、大阪工場と共に
化成品事業の一翼を担っている。

幅広いネットワークで隅々までサポート ユーザーニーズに迅速にお応えします



本社

■ 本 社 東京(北区)

■ 支 店 名古屋支店
大阪支店
福岡支店

■ 営業所 札幌営業所
仙台営業所
新潟営業所
広島営業所
高松営業所

■ 工 場 羽生工場
吉野原工場
土岐工場
大阪工場
福岡工場



羽生工場



吉野原工場



土岐工場





ちょうちょ…。
さまざまな彩りを放つ蝶。
空に無限の色彩を放ち続けるように
東京インキは彩りあふれる明日を創造し続けます。



<https://www.tokyoink.co.jp/>

このカタログは、東京インキ株式会社の環境に配慮した
100% 植物油型オフセットインキ
「ジップセット・ニューセルボ 100」で印刷しています。



東京インキ株式会社
TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

〒114-0002 東京都北区王子 1-12-4 TIC 王子ビル

TEL. 03-5902-7651

<https://www.tokyoink.co.jp/>

